

お知らせ

◆講座(東京)

ドストエフスキーと芥川龍之介
遠藤周作

講師 山根道公
日時 ①10月14日(日)
②11月11日(日)

ともに15時30分～17時

場所 四谷・幼きイエス会
定価 1000円(学生半額)

※申込不要
問合せ 風編集室

☎086-227-5665

◆講座(岡山)

遠藤周作の生涯と文学

講師 山根道公
日時 7月11日、8月1日、
10月10日、11月21日、
12月12日。

ともに14時45分～16時15分

場所と申込先

ノートルダム清心女子大学
生涯学習センター
☎086-252-7045

◆待望の遠藤全日記、遂に刊行

『遠藤周作全日記 1950—1993』

河出書房新社 5月29日刊行
定価 12800円+税
上下二冊全一巻・函入り

版元から刊行のご挨拶

刊行延期になっておりました『遠藤周作全日記 1950—1993』が、

◆講座(広島)

遠藤周作と芥川龍之介におけるドストエフスキーの痕跡

講師 山根道公
日時 7月7日

15時30分～17時30分

場所と申込先
NHK文化センター広島教室
☎082-242-1151

◆「劇団樹座」の流れをくむ

殺陣クラブ 会員募集のお知らせ

遠藤周作主催「劇団樹座」のあとを継ぎ、二年に一度の素人チャンバラミュージカル公演を行っている「殺陣クラブ」の次回第11回公演の日程が決まりました。来年8月3日・4日、会場は東京・日本橋劇場です。

月2回の立ち回り稽古を楽しむ「殺陣クラブ」会員、および公演の出演者を募集します。希望者・問い合わせは宮辺尚まで。
h-miyabe@com.home.ne.jp

◆「会報」の原稿募集

会員の皆さんの原稿を募集します。

900字(半ページ分)あるいは1800字(1ページ分)。遠藤周作の人と作品について、あるいは遠藤文学との関わりなど何でも結構です。

なお、原稿は必ず下記の加藤宗哉事務所内「周作クラブ」宛てに郵送してください。ふるってのご応募をお待ちしています。掲載の際にはご連絡差し上げます。

◆「周作クラブ」会員募集

「周作クラブ」では会員を募集しています。遠藤文学ファンはもちろん、これから読んでみようという方々も大歓迎です。

年会費は3000円。年4回発行の「会報」が送られるほか、会が主催する「文学セミナー」や遠藤文学の足跡を訪ねる「遠藤文学・原点の旅」への案内、新年会や各種懇親会に参加できます。

すでに会員の方も、ご家族や友人・知人をお誘いください。下記の「周作クラブ」(加藤宗哉事務所内)まで、ハガキかファックスでお知らせください。折り返し案内書と会費振り込み用紙をお送りいたします。

重なる一巻です。刷り部数僅少の由、残部わずかとなっております。お申し込みを心よりお待ちしております。

お問合わせは太田まで、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

河出書房新社 編集部 太田美穂
☎03-3404-8611

編集後記

▼三日間にわたる大分の旅は、晴天に恵まれて、楽しく有意義な旅となりました。何とんでも加賀乙彦会長が御一緒してください、ペトロ岐部についていろいろとお話ししてくださったのが、皆さん忘れがたい思い出となったことと思います。

▼国東半島は、岐部一族の故地であり、ペトロ岐部の故郷です。ペトロ岐部の像の建つ「ペトロカスイ岐部神父記念公園」は、参加者皆の心に残ったことと思います。

▼日(ひ)出(で)のトラピスト修道院のクッキーの味と、海に臨む日出城跡近くの食堂で食べた城下カレイの味が忘れられません。

▼「原稿発掘」は、周作先生の父君であられる遠藤常久氏のエッセイ、しかも「石仏のメッカ・国東半島を一周する」である。まさに本誌にドンピシャこの原稿を発掘した人に、金一封を、差し上げ、ません。

▼長崎遠藤周作文学館、7月1日から新しい企画展が始まります。北村沙緒里芸員のレポート、行きたくなりますね。『女の一生—キクの場合』の朗読劇、何とか再演を観たいと思います。(剣)

「周作クラブ」第71号

2018年6月発行

■発行人 加賀 乙彦

■編集人 高橋千劍破

■副編集人 亀岡 園子

■編集部

一田佳希、大原雄、近藤恭弘、
高木香織、南紀洋子

■発行所 東京都世田谷区上馬4-29-17
加藤宗哉事務所内「周作クラブ」

TEL080-1097-1979

FAX03-342-11521

●次回の会報発行は8月の予定です。